

6) Press Articles (Newspapers / Magazines / TV s)

●Newspapers

- ・ Masao MUKAIDONO, “製品安全に関するリスクコミュニケーション”(moderator), Security Sangyo Shimbun, March 25, 2011
- ・ Hideaki KARAKI, Masao MUKAIDONO, Shouhei KIMURA, Yu NOMURA, Masumi SHIRAISHI, “安心社会は正しい情報の理解と共有から”(panel discussion), Nihon Keizai Shimbun(advertisement), January 24, 2011
- ・ Yuichiro ANZAI, Hiromi NAYA, Masao MUKAIDONO, “日本らしさを示す,ものづくり技術とは”(discussion), Nihon Keizai Shimbun(advertisement), January 17, 2011
- ・ Masao MUKAIDONO, “再発防止への背景説明を”(interview), Mainichi Shimbun,

December 27, 2010

- ・ Masao MUKAIDONO, “安全学 やさしく紹介”, Yomiuri Shimbun(local page/Yokohama), p.29, October 10, 2010
- ・ Masao MUKAIDONO, “事故防ぐ”安全学”解説”, Yomiuri Shimbun (Kanagawa edition), September 8, 2010
- ・ Masao MUKAIDONO, Toyohiko TERAOKA, “企業と消費者が協力し安全を形づくる, NIKKEI 安全づくりプロジェクト”, Nihon Keizai Shimbun, June 17, 2010
- ・ Masao MUKAIDONO, “コンピュータで安全を実現”, Data communications, No.1080, Dempa Shimbun, April 15, 2010
- ・ Takeaki KARIYA, “金融機関のリスク管理の課題—新たな評価手法の確立を”, Nihon Keizai Shimbun October 6, 2010
- ・ Ryo KOBAYASHI, “ビバ・キャンパス イグ・ノーベル賞 粘菌の研究で栄誉”, Chugoku Shimbun, October 17, 2010
- ・ Ryo KOBAYASHI, “粘菌またイグ・ノーベル賞”, Asahi Shimbun, October 1, 2010
- ・ Ryo KOBAYASHI, “イグ・ノーベル賞 鉄道網に‘粘菌の知恵’”, Mainichi Shimbun, October 1, 2010
- ・ Ryo KOBAYASHI, “イグ・ノーベル賞2度目 粘菌の動きで交通網整備”, Kyoto Shimbun, October 1, 2010
- ・ Hiraku NISHIMORI, “複雑な砂丘の動き単純な連立方程式で表現”, Science News, July 2, 2010
- ・ Hiraku NISHIMORI, “砂丘の形状示す連立方程式発見”, Nihon Keizai Shimbun, June 28, 2010
- ・ Tatsuo SHIBATA, “細胞の自発運動時に機能, 分子挙動を解明”, Science News, 平成 22 年 June 25, 2010
- ・ Tatsuo SHIBATA, “酵素が細胞の動き決定”, Nikkei Sangyo Shimbun, June 16, 2010.
- ・ Kokichi SUGIHARA, “球が坂を転がり上がる？, Meiji University, 錯視狙った立体制作”, Nihon Keizai Shimbun, September 27, 2010

●Newspapers (comments)

- ・ Masao MUKAIDONO, “窒息の危険性減らす指標公表:こんにやくゼリー”, Nihon Shouhi Keizai Shimbun, January 1, 2011
- ・ Masao MUKAIDONO, “リコール情報”, Yomiuri Shimbun, January 28, 2011
- ・ Masao MUKAIDONO, “事故原因の究明優先を”, Nihon Keizai Shimbun, August 21, 2010
- ・ Masao MUKAIDONO, “リコール最前線:製品の‘寿命’周知進まず”, Nihon Keizai Shimbun, May 24, 2010
- ・ Hiraku NISHIMORI, “砂丘の風紋美しい”(新聞読者質問コーナーへの回答, 執筆は編集

部), Tokyo Shimbun, Chunichi Shimbun, July 26, 2010

●Magazines

- ・ Masao MUKAIDONO, “科学技術と未来 ～人と技術・システムとの関わりを中心に～”, SCOPE NET, VOL.59, pp.3-7, (財)湾岸空港建設技術サービスセンター, March, 2011
- ・ Masao MUKAIDONO, “ためになる”安全学」最終回:安全と安心”, プラントエンジニア 第 43 巻, 第 3 号, 通巻 505 号, pp.66-67, 日本プラントメンテナンス協会, February, 2011
- ・ Masao MUKAIDONO, “ためになる‘安全学’第11回:メンテナンスは安全の要”, プラントエンジニア, 第 43 巻, 第 2 号, 通巻 504 号, pp.50-51, 日本プラントメンテナンス協会, January, 2011
- ・ Masao MUKAIDONO, “ためになる‘安全学’第10回:安全確保のためにコンピュータを使う:機能安全という発想”, プラントエンジニア, 第 43 巻, 第 1 号 通巻 503 号, pp.76-77, 日本プラントメンテナンス協会, December, 2010
- ・ Masao MUKAIDONO, “ものづくり安全から安全づくりへ”, IPG 2010 Vol.25 No.12, pp.16, (株)コスモブレインズ, November, 2010
- ・ Masao MUKAIDONO, “ためになる‘安全学’第9回:フェールセーフ技術:ハイボールの原理に学ぶ”, プラントエンジニア, 第 42 巻, 第 12 号 通巻 502 号, pp.72-73, 日本プラントメンテナンス協会, November, 2010
- ・ Masao MUKAIDONO, “ためになる‘安全学’第8回:本質的安全設計 :安全設計のスタートはここから”, プラントエンジニア, 第 42 巻, 第 11 号 通巻 501 号, pp.80-81, 日本プラントメンテナンス協会, October, 2010
- ・ Masao MUKAIDONO, “ためになる‘安全学’第7回:スリーステップメソッド:安全方策の順番”, プラントエンジニア, 第 42 巻, 第 10 号 通巻 500 号, pp.66-67, 日本プラントメンテナンス協会, September, 2010
- ・ Masao MUKAIDONO, “製品の‘安全’は, 企業と生活者がともに考え, 納得して決めるもの, どうして?なるほど! 通信” Vol.10, p.11, (株)新建新聞社”くらし・住設・まちづくり研究所”, (有)ラ・プラーズ, September, 2010
- ・ Masao MUKAIDONO, “ためになる‘安全学’第6回:リスクアセスメントという発想”, プラントエンジニアリング, Vol.42, No.9, pp.48-49, 日本プラントメンテナンス協会, September, 2010
- ・ Masao MUKAIDONO, “ためになる‘安全学’第5回:信頼性と安全性の関係”, プラントエンジニアリング, Vol.42, No.8, pp.62-63, 日本プラントメンテナンス協会, August, 2010
- ・ Masao MUKAIDONO, “ためになる‘安全学’第4回:どこまでやったら安全か”, プラントエンジニアリング, Vol.42, No.7, pp.42-43, 日本プラントメンテナンス協会, July, 2010
- ・ Masao MUKAIDONO, “安全・危機管理と大学, シンポジウム 大学における危機管理体制の現状と問題点”, 明大専教連会報 第 99 号 通巻 189 号, pp.8-21 pp.34-47, Meiji University 専任教授連合会, July, 2010
- ・ Masao MUKAIDONO, “安全は競争力の源泉である”, リスクマネジメント TODAY, Vol.13,

- No.3, pp.17-19, リスクマネジメント協会, July, 2010
- ・ Masao MUKAIDONO, “情報化社会の脆弱性”, Newton 別冊 地域別・震源, 規模, 被害予測 巨大地震, pp.102-103, ニュートン プレス, June, 2010
 - ・ Masao MUKAIDONO, “リスクアセスメントのすすめ”, 人事院月報, No.730, pp.12-13, 人事院, June, 2010
 - ・ Masao MUKAIDONO, “ためになる‘安全学’第3回:安全の見える化”, プラントエンジニアリング, Vol.42, No.6, pp.58-59, 日本プラントメンテナンス協会, June, 2010
 - ・ Masao MUKAIDONO, “ためになる‘安全学’第2回:‘機械は壊れるもの’であり, ‘人間は間違えるもの’である”, プラントエンジニアリング, Vol.42, No.5, pp.60-61, 日本プラントメンテナンス協会, May, 2010
 - ・ Masao MUKAIDONO, “ためになる‘安全学’第1回:‘安全学’への道程”, プラントエンジニアリング, Vol.42, No.4, pp.60-61, 日本プラントメンテナンス協会, April, 2010
 - ・ Masao MUKAIDONO, “安全の‘共通化’はじっくりと”, 日経ものづくり, 第 667 号, pp.4-6, 日経 BP 社, April, 2010
 - ・ Takeaki KARIYA, “リスクの時代を生き抜く知恵”, 東洋経済, April 10 edition, 2010
 - ・ Kokichi SUGIHARA, “投影逆変換と立体錯視”, 数学セミナー 特集‘錯覚の数理’, pp. 24-27, March, 2011
 - ・ Hitoshi ARAI, Akiyoshi KITAOKA, Yasushi YAMAGUCHI, Kokichi SUGIHARA, “座談会「錯覚研究において数理的アプローチに期待すること」”, 数学セミナー 特集‘錯覚の数理’, pp. 8-16, March, 2011
 - ・ Kokichi SUGIHARA, ‘週刊文春’ January 20, 2011 edition 写真ページで不可能立体が紹介された。文芸春秋社
 - ・ Deok-Soo KIM, Youngsong CHO and Kokichi SUGIHARA, “Quasi-worlds and Quasi-operators on Quasi-triangulations”, Computer-Aided Design, vol. 42, pp. 874--888, October, 2010
 - ・ D.-S. KIM, Y. CHO, Kokichi SUGIHARA, J. RYU, and D. KIM, “Three-dimensional beta-shapes and beta-complexes via quasi-triangulation”, Computer-Aided Design, vol. 42, pp. 911--929, October, 2010
 - ・ Kokichi SUGIHARA, “知を磨く者3 不可能立体を究める Kokichi SUGIHARA”, 発明協会発行‘発明’にインタビュー記事が掲載された。pp. 20-23, October, 2010 edition
 - ・ Kokichi SUGIHARA, ‘子供の科学’7月号, コカトピで錯覚コンテスト1位入賞の記事とインタビュー, July, 2010 edition
 - ・ Kokichi SUGIHARA, “数学が使える楽しさ”, aperitif, 数学セミナー, 2010April edition, pp.1
 - ・ Chiyori URABE, “物理屋の眼で現象の骨組みを取り出す”, 明治大学グローバル COE プログラム‘現象数学の形成と発展’若手研究者インタビュー, News Letter Vol.4, April, 2010
 - ・ Akiyasu TOMOEDA, “第 15 回交通流のシミュレーションシンポジウム報告”, 日本応用数理学

会編集学会誌‘応用数理’, Vol.20, No.2, pp.86-87, June, 2010

- ・ Tohru WAKASA, “非線形現象を数理の目で解明したい”, Meiji University GCOE ニュースレター研究者インタビュー, Vol. 7, January, 2011
- ・ Hai Yen SIEW, “点過程モデルによる新しい推定法を考案”, Meiji University GCOE ニュースレター研究者インタビュー, Volume 7, January, 2011

●TVs

- ・ Ryo KOBAYASHI, “Home J ステーション”, 広島ホームテレビ, December 1, 2010
- ・ Ryo KOBAYASHI, “TSS スーパーニュース”, TV 新広島, November 23, 2010
- ・ Masao MUKAIDONO, “世界一受けたい授業”, 日本テレビ, July 31, 2010
- ・ Kanya KUSANO, “不可思議探偵団”, 禁断エリア 潜入 2 時間 SP 地磁気反転と太陽フレアの地球環境影響に関して解説, 日本テレビ, October 11, 2010
- ・ Kokichi SUGIHARA, “SmaSTATION!”, トリックアート特集で, 不可能モーションが紹介, テレビ朝日, January 10, 2011
- ・ Kokichi SUGIHARA, “奇跡体験アンビリバボー”, 心理トリック, 錯覚マジックの解説を監修, December 9, 2010
- ・ Kokichi SUGIHARA, “世界一受けたい授業”, 錯覚の利用, 錯覚エンターテイメントなどの講義, 日本テレビ, July 31, 2010
- ・ Kokichi SUGIHARA, “世界を変える100人の日本人 スペシャル”, 不可能モーションの紹介・解説, テレビ東京, July 30, 2010
- ・ Kokichi SUGIHARA, “さきっちょ”, 不可能モーションの紹介, インタビュー, テレビ朝日, July 13, 2010
- ・ Kokichi SUGIHARA, “MAG・ねっと”, 何でも吸引四方向滑り台が紹介, NHK BS-2, May 30, 2010
- ・ Kokichi SUGIHARA, “El Hormiguero(スペインのテレビ番組。司会 Andres Palop)”, 大型の「なんでも吸引四方向滑り台」が紹介, May 24, 2010
- ・ Kokichi SUGIHARA, “野次馬サタデー”, 何でも吸引四方向すべり台が錯覚コンテスト優勝作品として紹介される, テレビ朝日, May 15, 2010
- ・ Akiyasu TOMOEDA, “知りたがり”, 渋滞形成メカニズムと渋滞緩和策, フジテレビ, May 4, 2010

7) Hosted research conferences, symposia and workshops

- ・ Kaoru ARAKAWA, The 2010 International Symposium on Communications and Information Technologies (ISCIT2010), Meiji University, October 26~29, 2010
- ・ Masayasu MIMURA 他 (Co-chairs), Kota IKEDA, Daishin UHEYAMA, Kokichi SUGIHARA, Toshikazu SUNADA, Kazuyuki NAKAMURA, Hirokazu NINOMIYA, Masao MUKAIDONO, Joe Yuichiro WAKANO 他(実行委員), 日本応用数学会 20 周年

記念行事実行委員会, Meiji University, September 7, 9, 2010

- ・ Toshikazu SUNADA, Brusell における ERC(ヨーロッパ科学評議会) 審査委員, September 7-9, 2010
- ・ Toshikazu SUNADA “Analysis on graphs and its applications”ワークショップ組織委員, ケンブリッジ大学ニュートン研究所, July 24-August 1, 2010
- ・ Kota IKEDA, 第 4 回現象数理若手シンポジウム“パターン・ウェーブ”, Meiji University, April 23, 24, 2010
- ・ Wataru NAKAHASHI, 第 5 回現象数理若手シンポジウム“人類進化への数理的アプローチ”, Meiji University, June 29, 30, 2010
- ・ Shiro HORIUCHI, 第 6 回現象数理若手シンポジウム“現象数理学と数理社会学の対話”, Meiji University, July 27, 28, 2010
- ・ Tohru WAKASA, 第 7 回現象数理若手シンポジウム“細胞・腫瘍の数理”, Meiji University, November 6, 7, 2010
- ・ Hirofumi NOTSU, 第 8 回現象数理若手シンポジウム“航空機の数理 –流体モデルと数値解析–”, Meiji University, January 12, 13, 2011
- ・ Akiyasu TOMOEDA, 第 9 回現象数理若手シンポジウム“セルオートマトンは現象数理学の武器となりうるか?”, Meiji University, February 22, 23, 2011
- ・ Hirofumi NOTSU, “ロバスト幾何計算アルゴリズム”講演会, Meiji University, December 27, 2010
- ・ Hirofumi NOTSU, 現象数理若手プロジェクト“反応拡散系の自己組織化機構を利用したメッシュ生成手法の開発”, Meiji University, October 16, 2010
- ・ Makoto TOMA, Jian ZU, 第1回現象数理若手ミニシンポジウム“進化による安定共存と反応拡散系の形態形成”, Meiji University, August 20, 2010
- ・ Tetsuji HIDAKA, 第 2 回現象数理若手ミニシンポジウム“マーケティングと現象数理学”, Meiji University, October 8, 2010
- ・ Mitsuru KIKKAWA, 第 3 回現象数理若手ミニシンポジウム“ファイナンスと現象数理学”, Meiji University, November 22, 2010

8) Others

- ・ Hirofumi NIIYA, Akinori AWAZU, Hiraku NISHIMORI, JPSJ, Papers of Editor's Choice に, 論文 “3Dimensional Dune Skeleton Model as a Coupled Dynamical System of 2D Cross-Sections”, J. Phys. Soc.Jpn. (2010)が選ばれた。
- ・ Tatsuo SHIBATA, Virtual Journal of Biological Physics Research (物理系研究者に生物関連論文を紹介)に原著論文が選ばれた。
原著論文: “Self-organization of the phosphatidylinositol lipids signaling system for random cell migration”
- ・ Tatsuo SHIBATA, Faculty of 1000 Biology に原著論文が選ばれた。

- 原著論文:“Self-organization of the phosphatidylinositol lipids signaling system for random cell migration”
- ・ Tatsuo SHIBATA, Nature Chemical Biology, Research Highlights に原著論文が紹介された。“Migration in cue-less cells”, Vol. 6, pp.564, August, 2010
 - 原著論文:“Self-organization of the phosphatidylinositol lipids signaling system for random cell migration”
 - ・ Tatsuo SHIBATA, Science Signaling, EDITORS' CHOICE に原著論文が紹介された。“Organized Randomness”, Vol. 3, Issue 130, pp. ec210, July 13, 2010
 - 原著論文:“Self-organization of the phosphatidylinositol lipids signaling system for random cell migration”
 - ・ Tatsuo SHIBATA, JST, 大阪大学及び広島大学共同で, 原著論文のプレス発表を行なった。June 15, 2010
 - 原著論文:“Self-organization of the phosphatidylinositol lipids signaling system for random cell migration”
 - ・ Kanya KUSANO, 名古屋大学オープンカレッジ講師“母なる星太陽の不思議な素顔”, December 4, 2010
 - ・ Kanya KUSANO, (独)海洋研究開発機構横浜研究所一般公開サイエンスカフェ講師“宇宙と地球環境の不思議な関係”, November 27, 2010
 - ・ Kanya KUSANO, 名古屋大学太陽地球環境研究所 20 周年一般講演会講師 “太陽の謎 ガリレオから未来へ”, November 13, 2010
 - ・ Kanya KUSANO, 北海道陸別町銀河の森天文台“太陽・オーロラウィーク”講師, November 28, 2010
 - ・ Kanya KUSANO, 太陽研究最前線体験ツアー企画・講師, August 17, 2010
 - ・ Kokichi SUGIHARA, 名古屋市科学館(リニューアルオープン)にて, 不可能立体3種類の常設展示, March 9, 2011
 - ・ Kokichi SUGIHARA, “数学で調べるだまし絵 --- 私たちの目はなぜだまされるのでしょうか”, 十文字中学校数学講演会, February 23, 2011
 - ・ Kokichi SUGIHARA, “数学の力でエッシャーを超えよう”, 福井県立武生高等学校, January 24, 2011
 - ・ Kokichi SUGIHARA, 出願番号:特願2004-230652 発明名称:勢力圏図作成装置及びプログラム
 - ・ Kokichi SUGIHARA, 千葉県立現代産業科学館の企画展示“みる!みえる?錯視から探る視覚のしくみ”の開催イベントの一つとして, 工作教室“だまし絵を立体にして, エッシャーを超えよう!”講師, November 7, 2010
 - ・ Kokichi SUGIHARA, 不可能立体の展示とトーク(15分トーク合計10回), Meiji University 明大祭和泉キャンパス, October 30- November 1, 2010
 - ・ K. SUGIHARA, T. SATO and A. OKABE, “Simple and unbiased kernel density

functions for network analysis”, Proceedings of the 10th International Symposium on Communication and Information Technologies (ISICT 2010), Tokyo, pp.827-832, October 26-29, 2010

- ・ Kokichi SUGIHARA, 千葉県立現代産業科学館の企画展示“みる！みえる？錯視から探る視覚のしくみ”, “何でも吸引 4 方向すべり台”の立体(大)模型展示, October 9-November 28, 2010
- ・ K. SUGIHARA, “Computational Illusion --- How to Design Impossible Solids and Impossible Motions. Invited talk”, Asian Conference on Design and Digital Engineering, Jeju Island, Korea, August 25, August 25-28, 2010
- ・ K. SUGIHARA, “Voronoi-diagram approach to Escher-like tiling”, T Proceedings of the 7th International Symposium on Voronoi Diagrams in Science and Engineering, Quebec, pp.199-204, June 28-30, 2010
- ・ Kokichi SUGIHARA, “Hall of Illusions”, exhibit for the Glasgow Science Festival of the University of Glasgow, 20th May to 14th June, 2010, Organized by Dr. Rob Jenkins, Department of Psychology, University of Glasgow, May 20-June 14, 2010
- ・ Akiyasu TOMOEDA, Meiji University 生田図書館ギャラリーゼロによる渋滞研究, 錯覚研究の展示“ようこそ！現象数学の世界へー生物の模様から人の社会活動までー”, November 16-29, 2010
- ・ Akiyasu TOMOEDA, 千葉県立現代産業科学館の企画展示“みる！みえる？錯視から探る視覚のしくみ”, “錯視模型”の展示 October 9-November 28, 2010
- ・ Akiyasu TOMOEDA, 新都市ホール(そごう横浜店)“かながわ発, 中高生のためのサイエンスフェア”での渋滞学ポスターブース出展, July 17, 2010
- ・ Wataru NAKAHASHI, 自修館中等教育学校の中学生課外活動における講演, June, 2010
- ・ Tatsuya IIZAKA, 電気学会“再生可能エネルギー出力予測技術調査専門委員会”委員